

維新の会の光本圭佑でございます。

第 5 回定例会におきまして質問の機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます。先輩、同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間ご清聴を宜しくお願い申し上げます。また、市長はじめ理事者の皆様におかれましては、私の意のあるところをお汲み取り頂まして、明快でわかりやすい御答弁を宜しくお願い致します。

今回は、4点、

「カルチャー施設の一般予約申込期間と予約制限について」

「自治体業務への AI 技術の活用について」

「公設地方卸売市場について」

「市長の政治姿勢について」

です。

それでは、早速質問に入ります。

#### (1. カルチャー施設の一般予約申込期間と予約制限について)

昨年 12 月の第 3 回定例会の一般質問で、カルチャー施設として括られている「公民館・トレピエ・青少年センター・すこやかプラザ・地区会館・地域総合センター」の一般予約申込の申込期限や使用料の支払期限がカルチャー施設ごとに異なっていて分かりにくく、統一することはできないのかという質問をさせていただきました。

また、利便性の悪さも指摘させていただきました。

現在、各カルチャー施設を一般利用する場合、実際に利用する日までに

##### 1. 団体登録

##### 2. 申込み、使用料の支払い

の 2 ステップを踏む必要があります、二度も出向く必要があります。

既に団体登録済みでも、使用料は前納が前提になっているため、利用日までに必ず一度は出向く必要があります。

各カルチャー施設を気軽に利用してもらえるよう、業務プロセスを改善し、当日の申込み・支払い・利用も可能にするべきだと昨年 12 月の第 3 回定例会の一般質問で提案させていただきました。

#### **Q1.そこでお尋ねします。**

各カルチャー施設の一般予約申込期限や使用料の支払期限についてや、利用当日における申込みや使用料の支払いの実施を可能にするための対応策について、その後、庁内で検討を進めた結果、どのような結論が出されましたでしょうか。教えてください。

(2. 自治体業務への AI 技術の活用について)

今年の 4 月、「LINE を活用した社会課題解決手法の研究に関する連携協定の締結」が発表されました。

具体的には、LINE 上で市民からの問い合わせに対話型で即座に回答するプログラムの開発が進められ、更には、問い合わせ履歴から潜在的ニーズを把握し、住民サービスの向上や地域の活性化に資する新たなサービスの創出に役立てられます。

今回、LINE 株式会社が尼崎市とこのような協定を締結した理由が、「県内で LINE の公式アカウントを持ち友だち数も多い自治体」とのことで、平成 25 年 12 月の定例会で LINE@を提案させていただき、その翌年の 8 月 20 日から本市でも公式 LINE@がスタートしてくださったことが今回の協定の締結に繋がっていると考えると感慨深いものがあります。

改めて、ご尽力いただいた皆様にこの場をお借りして感謝申し上げますとともに、現在も有効活用してくださっていることを嬉しく思っております。ありがとうございます。

さて、この LINE 上で市民からの問い合わせに対話型で即座に回答するプログラムも含め、今注目されているのが人工知能、いわゆる AI 技術の活用です。

AI が多くの人間の仕事を奪うのではと言われていますが、人口減少で人手不足がより深刻化する中、AI ができるものは AI に任せ、人は人でしかできないことをやっていく時代になると言われています。

また、AI が生産性の向上、業務の効率化を実現しようとする活用例が注目されています。

**Q2.そこでお尋ねします。**

本市では、どの部署が主となって「自治体業務への AI 技術の活用」について研究・検討を進めているのでしょうか。また、研究会等に所属・参加している実績はあるのでしょうか。教えてください。

(3. 公設地方卸売市場について)

公設地方卸売市場の北部エリアに約 9,000 m<sup>2</sup>の中学校給食センターを配置するとされていますが、まだ具体的な広さも確定しておらず、また、なるべく市場の建物等にかからないように、どのような配置にするかのパターンも委託したコンサルティング会社の結果待ちと聞いております。

さらに、教育委員会の予算で市場の冷蔵庫や建物の耐震診断もコンサルティング会社に委託されると聞いております。

**Q3.そこでお尋ねします。**

中学校給食センターの配置パターンは、いつ出されるのでしょうか。また、市場の冷蔵庫や建物の耐震診断の結果も、いつ出されるのでしょうか。それぞれのスケジュールを教えてください。

(4. 市長の政治姿勢について)

今年 3 月の第 4 回定例会での代表質疑において、市長の退職金について質問させていただきました。

1 期目はそれまでの市長の退職金の考えを受け継ぎ 500 万円としておりましたが、2 期目は特別職報酬等審議会にも諮問答申され、稲村市長の退職金は平成 30 年度予算の中で約 2,250 万円計上されています。

**Q4.そこでお尋ねします。**

特別職報酬等審議会に諮問答申されたとはいえ、1 期目の退職金 500 万円の約 5 倍にあたる退職金をこの 2 期目に受け取るということは、それだけの仕事をした、それだけの結果を残したという自負があらわれるのだと思います。稲村市長が自負される、この 2 期目 4 年の結果を教えてください。

(一問一答 Q2-1)

今年は「自治体の AI 元年」と言われており、各地の地方自治体で活躍はじめています。

参考資料をご覧ください。

いくつかの活用事例を掲載していますが、この中でもさいたま市で行われた「認可保育施設の入所希望者を市内約 300 施設に割り振る実験」では、約 30 人の職員が休日に朝から晩までかけても割り振りは終わらず、平日の閉庁後にも集まり、計約 50 時間かけて終えた作業を、AI を活用したところわずか数秒で終了したとあります。さらに、割り振りの結果は職員の手作業とほぼ同じだったようです。

この割り振り作業が数秒で終われば、本来力を入れたいアフターコールに力を入れることもできます。

こういった活用例は本市でも横展開できると思います。

AI の活用は、長時間労働の是正、生産性の向上、業務の効率化にも繋がり、職員の働き方改革、ワークライフバランス、人件費の削減にも通じてきます。

**Q2-1.そこでお尋ねします。**

各地の地方自治体で活用されはじめている AI 技術を、本市でも導入した場合の費用対効果等を算出し、実際に導入に向けた取組みを今からでも進めて行くお考えはあるのでしょうか。教えてください。

(一問一答 Q3-1)

教育委員会は中学校給食センターを公設地方卸売市場の北部エリアに配置することを考えていますが、その場所は現在市場関係者が使用しており、そこにセンターを配置するとなれば市場内のどこかに移設・移動してもらう必要があります、現在使用している権利者に影響が出る事は必至です。

**Q3-1.そこでお尋ねします。**

既に権利者とは移設・移動について合意が取れているのでしょうか。もしまだの場合は、どのようなスケジュールや段取りで合意を取るお考えなのでしょうか。また、合意は教育委員会が取るのでしょうか。教えてください。

(一問一答 Q3-2)

昨年9月末に水産卸が撤退し、現在も卸売業者の不在が続いています。本市はこの5月から水産物部卸売業者の公募をはじめました。

しかしながら、この公募には期間が設定されておらず締切日がありません。卸売業者の選定に至った場合は公募を終了するとあるのみです。

水産物部卸売業者の入場に取り組むのは理解できますが、その動向を見極めるにはやはり期間を設定するべきだと思います。

**Q3-2.そこでお尋ねします。**

公募期間に締切が設定されていないのはなぜでしょうか。また、今後の市場のあり方を考える上で、公募期間を定めるお考えはないのでしょうか。教えてください。

(一問一答 Q3-3)

現在使用されている冷蔵庫に用いられているフロン R22 が平成 32 年で全廃が決定しており、この冷蔵庫についても対応する必要があります。

耐震診断の結果、補強で済むとなっても冷媒機器や配管を替える更新は必ず行う必要があると聞いています。もし建替える必要があるとなった場合は、一年半ほど建築にかかるようなので平成 32 年からの供用開始を考えると既に間に合わないのではないかと危惧しています。

また、建替えるかどうかの判断は、今後の市場のあり方が決まっていなければ判断できないと思いますし、建替えるとなった場合でも水産卸の選定やあり方が決まっていなければ冷蔵庫のサイズも考えられないと思います。

**Q3-3.そこでお尋ねします。**

中学校給食センターの配置、中学校給食センターに重なる部分の市場内での配置換え、市場の冷蔵庫や建物の耐震診断、水産卸の選定、今後の市場のあり方、これらはすべてが密接に関わっており連動していると思います。今後、これらはどのようなスケジュールや段取りで進められていくのでしょうか。また、今後の市場のあり方を考えるタイミングだとも思いますが、意思決定プロセスを教えてください。

(一問一答 Q4-1)

今年 3 月の第 4 回定例会での代表質疑において、退職金についての市長のご答弁の中で「政治姿勢の取組みにつきましては必要に応じた判断をしていきたいと考えているところでございます。」とありました。

**Q4-1.そこでお尋ねします。**

ご答弁にありました「必要に応じた判断」とは何を指すのでしょうか。教えてください。

(一問一答 Q4-2)

4 月に行われた西宮市長選挙において、市長退職金約 2,800 万円の廃止を公約に掲げた候補者が当選しました。

近年、大阪府下の首長選挙でも、市長退職金の大幅な減額や 0 円を掲げる候補者が出馬する傾向にあります。

**Q4-2.そこでお尋ねします。**

今年度予算で約 2,250 万円の退職金を計上されていますが、選挙対策として今さら退職金を減額するようなパフォーマンスはされませんよね。「必要に応じた判断」が選挙対策としての退職金減額となれば、市民を愚弄しているとも言えます。市長のお考えを教えてください。

## 認可保育施設の入所希望者を市内約300施設に割り振る実験@さいたま市

“

さいたま市は、保護者の勤務時間や世帯構成などを点数化し、高い順に希望する認可施設に割り振っている。保護者は自分で順位を付けて施設を何カ所でも希望できるうえ、兄弟姉妹がいる場合は「同じ施設を望む」「別々の施設でも近くなれば良い」などと細かく要望を伝える。条件が多い分、市側の作業も複雑になる。

昨年4月の入所希望者は7990人。1月に約30人の職員が休日に朝から晩までかけても割り振りは終わらなかった。平日の閉庁後にも集まり、計約50時間かけて作業を終えたという。

一方で富士通と九州大などが昨年夏、AIを活用して同じ作業をする実証実験をしたところ、わずか数秒で終了した。割り振りの結果は職員の手作業とほぼ同じだった。

”

## 第5回定例会 参考資料②

維新の会 光本圭佑

### AIスタッフ総合案内@掛川市

“

掛川市役所は、株式会社三菱総合研究所と共同で、新しい行政サービスの実験を行います。このサービスは、スマートフォン等を利用して、市民からの質問に対して、その意図を人工知能で理解し、的確に回答して市民が望む情報を容易に提示するというものであります。このサービスによって、市民サービスの質の向上や効率化が期待できるものと考えております。実証のサービスは、人工知能が、みなさんからの行政情報全般に関する相談にお応えします。

”

### 写真から道路の損傷状況を把握@室蘭市

“

特徴は、スマートフォンを自動車に搭載し損傷面を撮影する。市民が投稿した写真から道路の傷範囲や程度を自動的に抽出するほか、データベース化や全国の自治体との共同運用も視野に入れる。

3月2日の実証実験では1671枚で「傷みあり」と判定。ただ、市道の白線や影なども「異常」と認識する可能性が残っており、正確性に課題が残った。市は18年度までの本格運用に向け課題を整理する。

”

### 戸籍業務に関する職員支援@大阪市

“

例えば、戸籍に関する業務では、国際結婚や養子縁組などに関係する申請などで審査をする必要がある場合、関係する法令や過去の事例などを調べる必要があります。

さまざまな事情や条件が複雑に関係する場合は、個別に判断する必要があり、経験や知識が豊富な職員でなければ対応に時間がかかってしまいます。

今回、「職員の知恵袋」と呼ばれるシステムでは、職員が端末に「～の場合はどうしたらいいのか？」などを入力すると、回答案を探して画面に表示されます。

”

### ゴミ分別案内@横浜市

“

横浜市資源循環局が[ホームページ](#)で公開しているチャットボット「イーオのゴミ分別案内」がツイッターで話題です。LINEのような画面に、捨てたいごみの名前を入力すると、マスコットの「イーオ」が捨て方を教えてくれるサービスなのですが、ここに「旦那」と入力した人が現れると、絶妙な回答が…。開発の背景を聞くと、AIと人間のコラボレーションが生まれていました。

”